

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2016 年第 50 週
(12/12~12/18)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

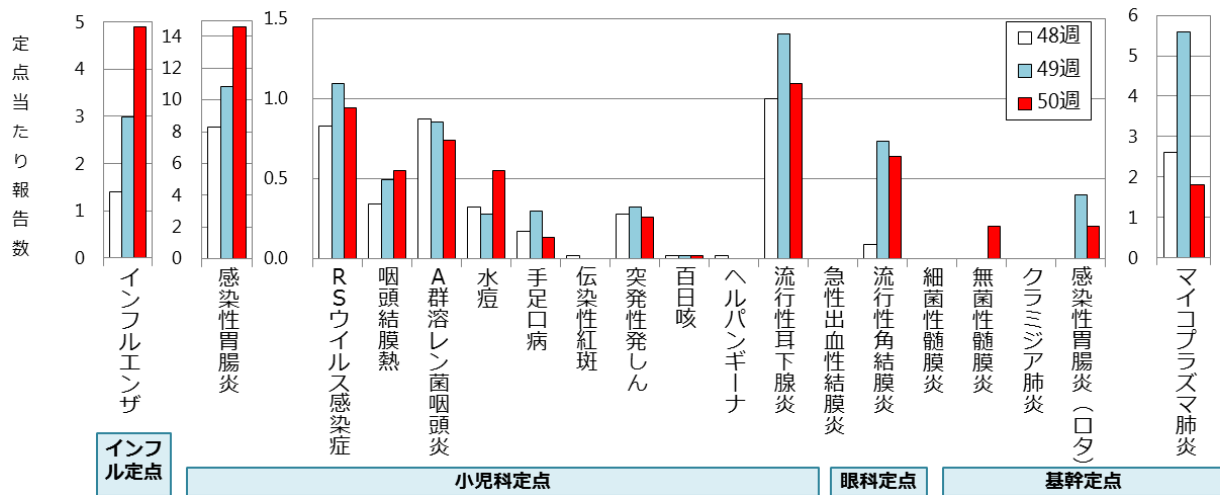
- ◇ インフルエンザ患者数が増加しており、県内にインフルエンザ注意報が発令されました。
→トピックス
- ◇ 感染性胃腸炎は増加が続いており、岐阜保健所管内で引き続き警報レベルとなっています。
- ◇ 流行性耳下腺炎は報告数の多い状態が続いています。

■ 定点把握対象疾患 (インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所)

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所 (定点当たり報告数)
警報レベル	感染性胃腸炎	岐阜 (27.40)
注意報レベル	インフルエンザ	飛騨 (10.60)

● 直近 3 週の比較



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 8 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例 (O157)
- 4 類感染症：つつが虫病 2 例
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例

● 2016 年累計

1 類感染症	なし	
2 類感染症	結核	458 例
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	49 例
4 類感染症	E 型肝炎	3 例
	A 型肝炎	1 例
	つつが虫病	26 例
	デング熱	3 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	12 例
	ウイルス性肝炎	1 例
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	9 例
	急性脳炎	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例
	後天性免疫不全症候群	26 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	腸チフス	1 例
ボツリヌス症	1 例	
マラリア	1 例	
レジオネラ症	34 例	
侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	
侵襲性肺炎球菌感染症	45 例	
水痘 (入院例に限る)	5 例	
梅毒	33 例	
播種性クリプトコックス症	4 例	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	
風しん	3 例	

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■トピックス

《インフルエンザ》

◆ 県内にインフルエンザ注意報が発令されました

県内 87 のインフルエンザ定点医療機関からのインフルエンザ患者報告数は、第 46 週に流行入りの目安とされる定点当たり 1 人を超えてから徐々に増加し、第 50 週は 426 人（定点当たり 4.90 人）となっています。

保健所別では、飛騨保健所管内で定点当たり 10 人を超える流行となっていることから、12 月 22 日、県内にインフルエンザ注意報が発令されました。

今シーズンの県内のインフルエンザウイルス検出状況は、検査を実施した 19 検体中、A 香港型（AH3）が 16 件、B 型が 3 件となっており、昨シーズンは A 型の亜型としては AH1pdm09 が主体であったのに対し、今シーズンは現在のところ A 香港型のみ検出されています。

また、岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスによると、第 50 週に迅速診断キットによる診断を受けた患者の 99% が A 型であることがわかっています。

さらに、第 50 週には、県内 13 の小・中・高校で、インフルエンザによる学級閉鎖等が報告されており、学校での集団感染も増加しています。

今後、急速に流行が拡大することが予想されますので、動向に注意し、一層の予防対策に努めることが必要です。

◆ 手洗いや咳エチケットの徹底を

基本的な予防対策としては、外出後の手洗いを励行すること、流行期には人ごみを避けること、やむを得ず人ごみに出る場合にはマスクを着用することなどが挙げられます。

また、インフルエンザの感染拡大を防止するためには、咳エチケットによる飛沫感染対策が重要となります。

★ インフルエンザとは

インフルエンザウイルスによる気道感染症で、典型的には、1～3 日間ほどの潜伏期間の後に、38℃ 以上の高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現われ、咳、鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、約 1 週間の経過で軽快します。高齢者や、呼吸器、循環器、腎臓の慢性疾患患者や糖尿病患者などでは、呼吸器に二次的な細菌感染症を起こしやすく、また、小児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。

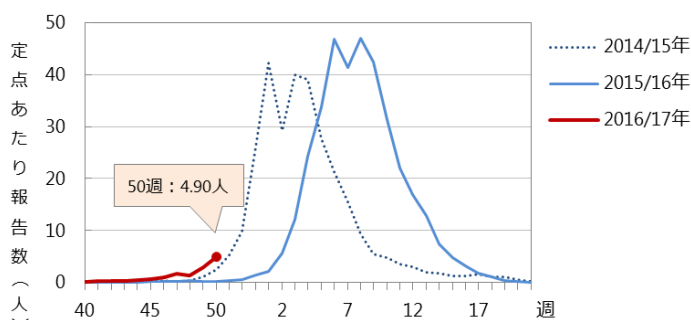
★ 感染症法における取扱い

インフルエンザは、感染症法において 5 類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約 5,000 か所（岐阜県 87 か所）のインフルエンザ定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。（保健医療課 HP）

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-kijun.html>

インフルエンザ患者報告数（岐阜県：87定点）



保健所別患者報告数 ()内は定点当たり報告数

保健所	48週	49週	50週
岐阜市	28 (2.00)	56 (4.00)	95 (6.79)
岐阜	16 (0.94)	27 (1.59)	35 (2.06)
西濃	38 (2.53)	35 (2.33)	39 (2.60)
関	9 (1.13)	25 (3.13)	44 (5.50)
可茂	5 (0.63)	18 (2.25)	50 (6.25)
東濃	11 (1.38)	42 (5.25)	47 (5.88)
恵那	5 (0.71)	6 (0.86)	10 (1.43)
飛騨	9 (0.90)	51 (5.10)	106 (10.60)
県全体	121 (1.39)	260 (2.99)	426 (4.90)

注意報レベル（定点当たり10人以上）